

船橋 YMCA 通信



No. 107 2019年3月1日

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



障がい者理解体験教室を開催

2019年1月～2月の間に4校の小中学校で、障がい者理解体験教室を開催しました。2018年度は、16回の体験教室を16回実施した大変忙しく、老齢のボランティアの方々には体への負担の多い1年間でした。

1月16日の法典西小学校では5年生135名が車いす体験および視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー11名、法典地区社会福祉協議会のボランティア5名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア3名でした。



《法典西小の車いす体験の様子です》

車いす体験は、介助される人と介助する人を交互に経験したあと、一人で車いすを操作する自走体験も行います。

1月21日の峰台小学校では4年生123名が車いす体験および視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー10名、宮本地区社会福祉協議会のボランティア10名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア3名でした。



《峰台小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手首を軽くつかんで白杖を使って階段の昇り降りを体験します。

1月29日の丸山小学校では5年生62名が車いす体験、視覚障がい体験および高齢者体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー10名、法典地区社会福祉協議会のボランティア6名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア5名でした。



《丸山小の高齢者体験の様子です》

高齢者体験は、両手首・両足首に錘をつけて、両方の手の肘と脚の膝に動きを悪くするサポーターを巻き、白内障を模擬した視野の狭くなるめがねを掛けて、杖をついて障害物の上を歩きます。



《丸山小の車いすダンスの様子です》

車いすダンスは車椅子レクダンス協会矢車草のメンバーによる模範演技のあと、全員で踊ります。

2月13日の若松中学校では1年生120名が車いす体験、視覚障がい体験および高齢者体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー8名、湊町地区社会福祉協議会のボランティア5名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア4名でした。介助犬の紹介のため千葉介助犬協会のスタッフ1名と介助犬PR犬の「ウィルマ」が特別参加しました。



《若松中の介助犬紹介の様子です》



《若松中の障がい者の講話の様子です》

体験教室の最後は、日常の生活を車いすですべてしている方々から、困っていること、助けてもらって嬉しかったことなどのお話を聞きます。

今年のチャリティーラン

今年の千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月19日（土）に船橋市運動公園で開催されます。今年も多くの方々の参加とスポンサーシップをお願いします。

ふなばし市民活動フェアへ参加



2月2日（土）に船橋駅前のフェイスビルの市民活動サポートセンターで開かれた船橋市主催「ふなばし市民活動フェア」に参加しました。今年も、ブース出展はやめ、6階のきららホールで、パネルのみの出展にしました。

《ふなばし市民活動フェアのYMCAパネル》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの1月、2月の活動記録です。

- ・1月10日（木）ビジョン委員会
- ・1月16日（水）法典西小障がい者理解体験教室
- ・1月17日（木）常議員会
- ・1月21日（月）峰台小障がい者理解体験教室
- ・1月29日（火）丸山小障がい者理解体験教室
- ・2月2日（土）ふなばし市民活動フェア
- ・2月13日（水）若松中障がい者理解体験教室
- ・2月27日（水）YMCAピンクシャツデー

編集後記

障がい者理解体験教室は、これまでに85回開催され、10,851名もの小中学生が貴重な体験をし、ご協力頂いたボランティアの方も延べ1,541名以上になりました。船橋市の地域社会福祉協議会のボランティアの方々の参加も増えて、地域ぐるみの活動になってきました。（槇）